11月号

麻布幼稚園だより

港区立麻布幼稚園
園長　佐藤　幸子

運動会を終えて

園長　佐藤　幸子

先日の運動会では温かいご声援とご協力をありがとうございました。

子どもたちは、運動会の取り組みの中で、互いの取り組みを見合い、興味・感心をもっていました。運動会を終え、幼稚園では、学級の枠を超えて一緒にリレーをしたり、鳴子を持って一緒に踊ったりしています。また、忍者玉入れを一緒に楽しむ姿も見られています。みかん組からも忍者の音楽と掛け声が聞こえてきます。こうして、運動会の後に、互いの踊りや競技を一緒に楽しむことで、親しみの気持ちや関わりもぐっと増しています。

リハーサルや運動会の当日に、うめ組が3歳児・4歳児のリズムの時に自席で一緒に踊っていました。自分たちの踊りを他の学級の子どもたちが喜んでくれることはうれしいことです。みんなの楽しい運動会となっていることを感じ、見ていてこちらもとてもうれしくなりました。

3歳児は、ゴールで待つ年長児を目指して一生懸命走りました。「うめ組さんが待っていてくれる」という安心感がありました。たくさんの人の前で緊張しながら自分なりにかけっこや踊りを楽しむことができたのは、先生や友達との安心できる関係性や幼稚園生活が自分のものとなっていることの賜物です。

4歳児は、先生や友達と一緒に忍者になりきって踊りました。同じ目標に向かって心を合わせたり、友達の動きを見ながら取り組んだりする中で、友達と一緒にすることの楽しさを感じていました。

5歳児は、司会やプラカード、体操、片付けなどの係活動を担い、運動会を支える大切な役割を果たしました。自分の役割を理解し、責任をもって行動する姿に、大きな成長を感じました。また、リレーでは最初は同じ走順の友達と競っていましたが、次第にチームとして自分の力を発揮して競い合う面白さを味わっていきました。勝ったり負けたりを繰り返すうちに、あきらめずに最後まで力を出し切ることや、悔しさを乗り越えて気持ちを切り替えることを学んでいました。こうした経験は、自分の感情をコントロールする力や、友達と互いに認め合いながら協力する力につながっていきます。

運動会で感じた達成感をもとに、次の活動につなげていきたいと思います。

保護者の皆様も、運動会にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、今年度もお借りした小学校をきれいに使うことができました。

一緒にリレー

よさこいソーラン

忍者玉入れ